

## 한통련 뉴스레터

제52호

発行:在日韓国民民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284  
メール [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org) ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

## 정세 情勢

## ●朝鮮半島の戦争の危機を高める韓米・韓米日合同軍事演習を中止しろ！



「停戦70年 朝鮮半島平和行動」出帆大会

韓国国防部は2月17日、韓米合同軍事演習「フリーダムシールド(自由の盾、FS)」を3月中旬(※14日が有力)に11日間連続で実施し、期間中に大規模な野外機動訓練も行うと発表した。国防部によると、同演習ではコンピューターシミュレーションを通じて北の核実験と軍事的挑発事態のシナリオを想定し、合同防衛態勢を点検。また、師団級の双龍合同上陸訓練など合同野外機動訓練の規模と範囲を拡大し、過去に実施した「フォールイーグル」訓練の水準で集中的に展開する計画。

朝鮮外務省は同日、韓米が予定する演習を行えば「持続的で前例のない強力な対応に直面することになる」と警告する報道官談話を出した。談話では国連安保理も非難し、韓米の軍事行動を不問にする一方、朝鮮だけを問題にする敵視行為を取っていると訴えた。20日、安保理では中口の反対で一致した対応は合意に至らなかった。

朝鮮は18日に大陸間弾道ミサイル(ICBM)「火星15」を発射。これに対

し、韓米両軍は19日、朝鮮半島上空で米軍の戦略爆撃機B1Bを動員した合同訓練を、22日には韓米日三カ国が東海上でイージス艦によるミサイル防衛合同訓練を実施した。韓米日は昨年10月上旬にも東海上で同様の訓練を行った。韓米は北の核への対応に向けた机上演習「拡大抑止手段運営演習(DSC-TTX)」を22日に米国防総省で実施。2月初旬から3月初めまで航空機を利用して敵陣に侵入する特殊部隊の韓米合同訓練も行われている。

こうしたなか、朝鮮外務省は24日「われわれの度重なる抗議と警告にもかかわらず、米国が朝鮮民主主義人民共和国に対する敵対的かつ挑発的な慣行を続ければ、わが国に対する宣戦布告と見なされる可能性があることを肝に銘じなければならない」と警告し、「朝鮮半島と周辺地域で軍事的緊張激化の悪循環を防ぐための唯一の方法は、米国が南朝鮮(韓国)に対する戦略資産展開の公約を放棄し、朝鮮民主主義人民共和国に反対する各種名目の合同演習を中止するといった明白な行動で立場を示すことだ」と主張した。

これに対し米國務省は27日「北に対する敵意はなく、1年以上無条件対話を提案しているが、北が挑発を続け提案を拒否した」と責任を転嫁する一方、戦略資産や合同軍事演習に関する北の要求には答えなかった。

バイデン米政権の新冷戦覇権戦略のもとで対米追従姿勢で一貫する尹錫悦政権。戦

略爆撃機 B 1 B などの戦略資産の動員が示すように米国の韓国に対する拡大核抑止力は強化され、野外機動訓練を含む大規模な合同軍事演習は朝鮮半島の軍事緊張をさらに高め、これに強く反発する朝鮮は弾道ミサイルの発射でけん制するなど、朝鮮半島の戦争の危機は増すばかりだ。

戦争の危機を克服するためには、韓米は合同軍事演習を即刻中止しなければならない。そうしてこそ対話環境を模索することが可能となる。米国が「無条件で北と対話する」と呼びかけても、敵視行為の最たるものである合同軍事演習を強行しては応じるはずはない。

## ●【記事紹介】民主労総・建設労組「尹錫悦審判決意大会」を開催…5月総決起・7月全面ストで対抗



大会後、ソウル市内を行進する参加者たち

尹錫悦 (ユン・ソンニョル) 政権は「無能・無責任」により自らが招いた民生破たんの厳しい状況を、労働者、特に建設労働者をやり玉にあげて攻撃することで責任転嫁しながら、あわせて局面転換を図るとともに、民主労総など反対勢力を徹底して封じることに躍起となっている。こうした弾圧に対して建設労組を含めて民主労総は2月28日、「尹錫悦審判決意大会」を開催し、尹政権との対決姿勢を鮮明にした。統一ニュースの記事(3月1日付け、一部省略)を紹介する。

民主労総、「5月総決起・7月全面ストで尹錫悦政権審判」を決意

4万3千組合員、「民生破たんを建設労働者に責任転嫁、尹錫悦審判決意大会」開催

「建設労組弾圧糾弾! 反労働尹錫悦政

尹政権は同族対決をやめて南北関係の改善へと、バイデン政権は朝米関係の改善へと進むべきであり、その過程では2018年の南北合意・朝米共同声明が力を発揮するだろう。

韓国内では2月14日、763団体で「停戦70年 朝鮮半島平和行動」が結成され、停戦協定締結から70年を迎える今年、朝鮮半島の恒久平和を実現するために様々な平和行動を計画し開始している。軍事同盟と合同軍事演習に反対して戦争の危機を阻止し、平和を実現する闘いを推し進めよう。

権審判! 民主労総決意大会」が2月28日午後3時、ソウル世宗路崇礼門前で43000余人の組合員が参加するなかで開かれた。

民主労総は報道資料を通じて、建設労組に対する弾圧は労働改悪推進のための政治的布石だとしながら、全組織力量を投入して建設労組弾圧を防ぎ抜き、5月総決起と7月全面ストで尹錫悦政権を審判すると決意した。

大会場周辺には金属労組、公務員労組、公共運輸労組、事務金融労組、全教組、民主一般連盟など民主労総の産別労組が大型の幕を掲げ、闘う建設労組を応援し連帯闘争の意志を誇示した。

民主労総のヤン・ギョンス委員長は大会辞を通じて、「1%の富裕層、財閥には減税し、営業社員を自任する大統領は労働者の権利をはく奪し、庶民の生計は破たんしている」「1週間に69時間奴隷労働をしると強要し、派遣法を拡張してさらに多くの非正規職をつくるという」と指摘した。

特に「造船業下請け労働者の切迫した闘争を従北だと罵倒し、裁判所の判断とは正反対に会計帳簿を公開しろと脅迫して腐敗集団だと追い込み、現場の安全と透明な雇用秩序のために努力した建設労組を結局は暴力集団と罵倒し、根絶するという」とし、これは「法治ではなく暴治であり、公



正」ではなく不平等」だと断固糾弾した。

続けて「尹錫悦政権が関心を持って覗き込まなければならないのは労働組合の会計ではなく、国民の苦痛だ。物価暴騰と金利引き上げで苦痛を受ける庶民に暖房費爆弾（暖房費の急騰・暴騰）を投げたのは誰なのか」と問いながら、「庶民生計は放り出し検察集団の頭目となってしまった尹錫悦大統領、分裂と葛藤を助長し公安弾圧で守旧保守勢力の先鋒隊となってしまった尹錫悦政権ではないのか」と強く批判した。

「建設労組が弾圧される理由は民主労総の先頭に立っているからであり、建設労組に対する弾圧は民主労総に対する弾圧だ」

「民主労総はすでに7月全面ストを決定し、また政権が全面的な弾圧をすれば、いつでもすぐさま全面スト闘争に突入する。建設労組に対する全面的な弾圧に民主労総はすべてをかけてともに闘う」と決意した。

建設労組のソン・チャンプ副委員長は「（最近、光州高裁で「建設現場の慣行である月例費を賃金としてみなすべき」との判決が出たことを踏まえて）建設会社が不正の温床であり無法の主犯なのに、建設労働者だけを厳しく取り締まっている」と強く非難した。

「われわれ労働者は政府の恐喝と脅迫におびえず、力を出して弾圧を粉碎し、現場

の主人公として良好な職場をつくっていこう」と力強い闘争意志を伝えた。

金属労組のユン・ジャンヒョク委員長は連帯発言を通じて、金属労組慶南支部と巨済の造船下請け支会に対する国情院の家宅捜索について、「古びたアカ攻撃で労働運動を罵倒し金属労組に弾圧を加えている」と糾弾しながら、「金属労組は建設労組、民主労総とともに尹錫悦政権の労働弾圧、労働改悪阻止と労働基本権獲得のために力づくよく闘う」と明らかにした。

建設労組のチャン・オッキ委員長はまとめの発言を通じて、「本日の闘争は、第一に尹錫悦政権の弾圧に抗し、弾圧には闘争で弾圧には抗争で立ち向かう決意をするためのもの。第二に尹錫悦政権と建設資本に建設労働者の厳しい最終警告をするためのもの。第三に建設現場の主人公は建設労働者であることを堂々と宣言し、さらに深く現場のなかに入り、建設労働者の生存権を死守する決意を集めるためのもの」と明らかにした。

大会を終えた集会参加者は代表団を先頭に龍山・大統領執務室（三角地駅）まで尹錫悦政権糾弾のスローガンを力強く叫びながら行進した。

原文 <http://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=207369>

## 활동보고 活動報告

### ●2・17東京総行動…日本製鉄は被害者への謝罪と補償の意思を示せ！



発言する本木事務局長

第182回東京総行動が2月17日、都内で一日行動として実施され、参加した争議団、労組員、支援者らは「働く権利・働く者の権利・人間としての権利を守れ！」と交渉団体に抗議の声をあげ、争議解決を要求した。主催は権利総行動実行委員会。

総行動は当日朝、日本製鉄本社前からスタート。東京全労協の本木寛事務局長が主催者あいさつを通じて「個々の争議の勝利とともに、労働者としての権利、市民としての権利を脅かすあらゆる策動を打ち破る

う」「本日の総行動も成功をかちとろう」と訴えた。

「日本製鉄元徴用工裁判を支援する会」からアピール。「日本製鉄は日韓を通じて裁判で争った結果、韓国大法院（最高裁）から賠償を命じられた判決の当事者であり、請求は棄却されたが日本の裁判でも不

法行為が認定された強制労働を被害者に強いた当事者だ。これは自ら掲げる法令順守（コンプライアンス）違反」だと指摘し、「日本政府の陰に隠れて責任逃れをするのではなく、元徴用工（強制動員）被害者への謝罪と補償の意思を示すべきだ」と求めた。

## ●都内で「第2回尹錫悦政権糾弾集会」開催…韓国と連動し尹政権を糾弾



尹錫悦政権糾弾のメッセージを掲げる参加者たち

「東京民主実践連帯（東民連）」が2月18日、都内の京成上野駅前「第2回尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権糾弾集会」を開催。韓統連・韓青や在日同胞、ニューカマーの韓国人や日本人が有志で参加した。

東民連のペ・ウンミ代表が主催者あいさつ。「尹政権は戦争危機を高め経済を破たんさせ、国家保安法によって市民団体を弾圧している。これ以上尹政権を放置できない」と語り、尹政権の退陣、金建希（キム・ゴニ）大統領夫人への特別検察適用、国家保安法廃止、平和協定締結を要求した。

韓青からは兵庫県本部の朴偕泰（パク・ヘテ）氏、中央本部の韓成祐（ハン・ソン

ウ）委員長が発言。朴氏は尹政権が提示した「徴用工（強制動員被害者）」問題の「解決案」を批判し、日本政府の謝罪と補償を要求した。韓委員長は3月に予定されている韓米合同軍事演習について「米国の戦略資産の運用も検討されており、実施されれば朝鮮半島の緊張は一気に高まる」と強調。朝鮮に対する敵視政策の撤回を訴えた。

インターネットメディア「日本のメディアが伝えない週刊韓国ニュース」の西田尚史氏が尹政権のメディア弾圧を批判。

東民連からソン・イネ氏、チャン・リエ氏が発言し、尹政権の民主主義破壊、梨泰院惨事に対する対応、外交惨事について厳しく糾弾した。

韓統連の李俊一（イ・チュニル）総務部長が閉会あいさつ。「尹政権によって韓国の民主主義と平和は危機的な状況に陥っている。私たち民衆が団結し、尹政権の暴走を阻止しよう」と訴えた。

当集会は韓国で同日実施された「2月全国集中キャンドル集会（キャンドル行動主催）」とインターネットで中継。集会の様子が韓国の会場のスクリーンに映し出され、韓日を結んで糾弾の声をともにあげた。

## ●広島で映画「차별 차비욘 差別」上映会とトークイベント開催…差別是正を要求



発言する尹康彦代表委員（写真左）

ドキュメンタリー映画「차별 차비욘 差別」の上映会と監督・出演者のトークイベントが2月19日、広島市内のSocial Book Cafeハチドリ舎で開催された。（上映3回と監督トーク）。広島無償化裁判の元原告保護者有志とハチドリ舎の共催。

この映画は、すべての子どもたちの教育を受ける権利を保障するために導入された「高校無償化制度」だが、朝鮮高級学校だ



けが除外されるという行政による差別に対して、朝鮮学校生たちが裁判を起こして闘った姿を、韓国の監督が記録したドキュメンタリー映画。

ハチドリ舎の安彦（あびこ）恵里香店主が主催者あいさつ。「今回の上映とトークで在日の問題を皆さんと考えていきたい」と語った。

トークでは広島無償化裁判弁護団の秋田智佳子弁護士が「広島の裁判は、高校無償化制度不指定処分の取消と指定処分の義務付けを求める行政訴訟と、原告110名に対する損害賠償を求めていた」と解説。また元原告保護者である尹康彦（ユン・ガンオン）韓統連広島本部代表委員は「在日

同胞は祖国と日本社会の影響を受けている。日本政府は朝日ピョンヤン宣言を履行して朝日国交を正常化し、朝鮮学校・在日同胞への差別政策を中止しなければならない」と強調した。

韓国から来日した金智雲（キム・ジウン）監督と金度喜（キム・ドヒ）監督のトークでは「最初に不当判決がでた広島映像を見て、この裁判は記録しなければならないと思い映画を作る決意をした」「韓国政府が在日同胞に対して十分に援助していないことが差別につながっている」と映画制作の思いを語った。

同映画は3月から韓国で劇場上映され、日本でも各地で上映会が予定されている。

## ●韓青が冬期講習会を開催…「民族的に生きる」ことについて語り合う



宿舎前での集合写真



大阪・京都本部の文化発表

韓青（在日韓国青年同盟）は2月23日から25日にかけて、長野県志賀高原で「第58回韓青全国冬期講習会 スノーフェスティバル2023」を開催した。全国各地から同胞青年が集まり二泊三日のプログラムの中でウィンタースポーツを楽しみ、民族の歴史や文化に触れ、在日青年として「民族的に生きる」ことについて語り合った。



ウィンタースポーツを楽しむ参加者

一日目はゲレンデでのゲーム企画や雪像づくりなどを楽しみ、夜には韓成祐（ハン・ソンウ）中央委員長が講師をつとめ、「在日同胞渡航史」を学習した。

二日目は尹鏞昊（ユン・ヨンホ）実行委員長が「民族的に生きる」をテーマに講演。講師自身の人生を振り返りながら考えを深めた。メイン企画である「韓青文化マダン」ではサムルノリ（韓国の民族楽器演奏）や律動、朗読劇、按舞（アムム、闘争曲に合わせて演舞する韓国運動圏の文化）が披露された。

三日目の閉会式では「同世代の在日同胞の考えを聞いて勉強になった」「文化マダンに参加して感動した」といった感想が参加者からよせられた。

尹実行委員長が閉会あいさつ。「今後も各地域での活動に参加することで講習会の感動を忘れないで欲しい」と語った。

## ●韓統連が「公安弾圧反対!韓米合同軍事演習中止!尹錫悦政権糾弾!全国代表者決意集会」開催



主催者あいさつする宋世一委員長

在日韓国民民主統一連合（韓統連）は2月26日、名古屋市内で「公安弾圧反対！韓米合同軍事演習中止！尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権糾弾！韓統連全国代表者決意集会」を開催した。

宋世一（ソン・セイル）委員長が主催者あいさつ。宋委員長は尹錫悦政権について「徹底した対米追従により中国との関係を悪化させ、経済危機を招いた。民生破たんを労働運動に責任転嫁し、進歩民衆陣営や野党にも弾圧を加えている。国民からの批判の目をそらし、反対勢力を封じることで保守執権を継続させることが狙いだ」と指摘。3月に予定されている韓米合同軍事演習については「核兵器を使用することができる戦略資産を動員し、朝鮮に対する核脅威を与えようとしており、非常に緊張が高まっている。軍事演習を即時中止し、対話を再開しなければならない。朝鮮半島の戦争危機をとめ、恒久平和実現のために、今こそ八千万民族が団結しなければならない」と強調。「すべての反尹錫悦勢力が総結集し、総反撃に転じるときだ。海外で韓統連が先頭に立ち、国内民衆とともに闘おう」と訴えた。

続いて、会員団体と地方本部から意見表明が行われた。在日韓国青年同盟中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長は「尹政権は朝鮮に対する挑発的な言動を繰り返し、緊張を高め続けている。日本との関係においては『徴用工（強制動員被害者）』問題の拙速合意を進め、植民地支配に対する謝罪を自ら放棄し、日本と軍事協力をしようとしている。在日韓国人として到底許すことができない暴挙だ」と批判。「尹大

統領は戦争主義者と言うほかなく、団結した闘争で糾弾しなければならない。根本的な体制転換が必要だ。韓青は祖国統一のために運動の先頭に立って闘っていく」と語った。

また、韓統連京都本部再建委員会の李勝熙（イ・スンヒ）委員長は「昨年から京都の地で運動を再建していくことになった。祖国の分断はいまだ続いており、尹政権によって危機は拡大している。米国に追従し民衆を弾圧する軍事独裁政権が再現されているようだ。これ以上、祖国の状況を座視することはできない。納得した人生を生きるためにも立ち上がっていききたい。一人ひとりに声をかけ、同志を増やし、京都で大きな輪をつくっていききたい」と語った。

金隆司（キム・ユンサ）副委員長が決議文（別掲）を朗読。△公安弾圧に断固反対する！ △韓米合同軍事演習を即刻中止しろ！ △尹錫悦政権を厳しく糾弾する！ △国内民衆とともに闘おう！の四項目のスローガンが提案され、満場一致で採択された。

趙基峰（チョ・キボン）副委員長が閉会あいさつ。「朝鮮半島で戦争の危機が迫っている。民族分断の原因をつくった米国・日本と結託し、軍事演習を継続しようとする尹政権は、従米、親日の売国政権だ。今日この日から、尹政権を退陣に追い込むための闘いを力強く進めていこう」と締めくくった。

集会後、参加者は「公安弾圧反対！」「韓米合同軍事演習中止！」「尹錫悦政権糾弾！」と書かれたプラカードを手にはアピールした。



公安弾圧中止を求めるプラカード・アピール

※韓国のインターネットメディア「自主時報」に全国代表者決意集会の記事が掲載されました。

<http://www.jajusibo.com/61868>

## 決議文

世界的な経済危機が継続拡大するなかで、韓国経済においては米国の対中国包囲圧迫政策に追従した結果が輸出不振・貿易赤字増大・低成長を招いている。さらには米国の対インフレ高金利政策の影響を受けた高物価・高金利・高為替レートが韓国民衆の生活に大きな打撃を与え、民生破たんともいふべき深刻な状況を引き起こしている。

尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は、財閥・大企業や富裕層には減税や規制緩和などの特恵を与える一方、労働者には「法と原則」「労働改革」の名のもとに徹底した弾圧を加えることで、こうした経済危機・民生破綻を切り抜けようと画策している。

また、梨泰院（イテウォン）惨事の真相究明・責任者処罰・再発防止から目をそむけ、遺族の活動を妨害しながら、惨事を社会から忘却させることに汲々とし、国民の厳しい批判を受けている。

国情院は民主労総メンバー一人の家宅捜索のために、約700人の警察力を動員して「大々的な捜査」を演出し、保守メディアに意図的な記事を掲載させて、民主労総の「悪魔化」をねらった。また、韓国進歩連帯など進歩民衆勢力に対しては、スパイ事件をねつ造し、「伝家の宝刀」国家保安法を動員して激しい公安弾圧を加えている。

こうした弾圧は、第一野党「共に民主党」の李在明（イ・ジェミョン）代表への攻撃とあわせて、検察・国情院・警察の力を総動員し、反対勢力を徹底して封じ込めることにより、現在の危機的局面の転換を図りながら、2024年総選挙で勝利するための整地作業として展開されている。進歩民衆勢力と民主勢力の団結した力で総反撃を加え、尹政権の策略を全面的に破たんさせなければならない。

米国の新冷戦覇権戦略のもとで、韓米両政府は3月中旬に大規模な合同軍事演習「フリーダムシールド」を実施するとしている。昨年後半、米国の戦略資産を含む韓米・韓米日合同軍事演習が実施され、朝鮮はこれに対応した軍事行動を展開、朝鮮半島の軍事緊張は一挙に高まった。合同軍事演習はいたずらに朝鮮を刺激し、戦争の危機をさらに増幅させるだけである。合同軍事演習の中止から対話局面をつくり出し、さらには南北・朝米合意の履行へと進展させ、朝鮮半島の平和を実現することが喫緊の課題だ。

朝鮮への軍事対決姿勢を露骨に示す尹大統領は「核共有」「核武装」発言もためらわず、朝鮮半島の危機を激化させている。また、米国の意向に沿い韓米日軍事同盟を完成させるために、「強制動員」問題の屈辱的解決策による韓日関係の「改善」を目指し、「安保三文書」に基づく日本の大軍拡と自衛隊の朝鮮半島への進出野望にも理解を示すなど、その親日売国姿勢はとどまる所を知らない。歴史清算を無視した韓日の政治決着を決して許してはならない。

このような尹政権に対して、韓国民衆は立ち上がり糾弾の声を連日のようにあげている。民生を破たんさせ、人権と民主主義を破壊し、朝鮮半島に戦争の危機をつくり出す尹政権を厳しく糾弾し、その力と成果を結集しながら、尹政権を退陣へと追い込まなければならない。わたしたちは国内民衆と固く連帯して闘うことを決意しながら、次のとおり決議する。

1. 公安弾圧に断固反対する！
1. 韓米合同軍事演習を即刻中止しろ！
1. 尹錫悦政権を厳しく糾弾する！
1. 国内民衆とともに闘おう！

公安弾圧反対！ 韓米合同軍事演習中止！ 尹錫悦政権糾弾！  
韓統連全国代表者決意集会  
参加者一同

2023年2月26日 日本・名古屋



## ●「3・1朝鮮独立運動104周年 2・25東京集会」開催される…民衆連帯で東アジアの平和実現！



キム・チへ自主統一局長の報告

「3・1朝鮮独立運動104周年 東アジアの民衆連帯で新たな戦争を起こさない！ 植民地支配を清算し大軍拡を止めよう！ 2・25東京集会」が2月25日、文京区民センターで開催された。主催は「3・1朝鮮独立運動」日本ネットワーク（3・1ネット、旧100周年キャンペーン）、「戦争させない・9条壊すな！ 総がかり行動実行委員会」が協賛した。

日韓ネット共同代表の渡辺健樹さんが主催者あいさつを通じて、韓国ゲストのチェ・ウナさん（韓国進歩連帯自主統一委員長、6・15共同宣言実践南側委員会事務局長）が前日に成田空港入管で入国を拒否され強制退去させられたと報告。集会では参加者一同の名で抗議の緊急声明を発表した。

法政大教授の慎蒼宇（シン・チャンウ）さんが「関東大震災時、朝鮮人はなぜ殺さ

れたか？ 朝鮮植民地戦争と3・1独立運動、朝鮮人虐殺への道」と題して講演。△関東大震災時の朝鮮人虐殺は自然災害時の偶発的事故ではなく「人災」△事後処理において国家権力によって隠ぺいされた△いまも日本政府による公式謝罪・補償・真相究明・責任者処罰はないと指摘した。

韓国進歩連帯自主統一局長のキム・チへさんが「朝鮮戦争の停戦70年、新しい平和の道を切り拓こう！ ～停戦70年に向けた平和行動の提案～」と題して報告。韓国で発足した「停戦70年 朝鮮半島平和行動」を紹介しながら、「戦争同盟に反対し、戦争の危機を克服し、朝鮮半島と東アジアの平和を構築するために連帯して闘おう」と訴えた。

参議院議員「沖縄の風」の高良鉄美さんが「南西諸島軍事化の危険な動き」を報告、子どもと教科書全国ネット21の鈴木敏夫さんが行動提起した。

3月1日には新宿駅西口前でキャンドル行動。関東大震災虐殺100年、「徴用工（強制動員被害者）」、「慰安婦（日本軍性奴隷制被害者）」、朝鮮学校無償化排除、停戦協定70年、沖縄基地、改憲をテーマにリレートークが展開され、参加者はキャンドルを振りながら応えた。

### プラカード・アピールにご協力ください



韓米合同軍事演習中止、尹錫悦政権糾弾、公安弾圧中止を要求するメッセージ写真を募集しています。プラカードに所属・姓名を記入の上で写真を撮影し、下記アドレスまでご送信ください。写真は韓国の運動団体に送ります。

写真送付先 [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org)

プラカードのデータはホームページからダウンロードしてください。

韓統連ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>



■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の写真、動画などは韓統連インスタグラム、韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

[https://www.youtube.com/channel/UCg\\_8NZg52O1VTAMlgrXfqIQ](https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMlgrXfqIQ)

韓統連Instagram

[https://www.instagram.com/korea\\_htr/?hl=ja](https://www.instagram.com/korea_htr/?hl=ja)



## 행사예정 行事予定

### 3月

東アジアの緊張を煽る米韓合同軍事演習中止を！3.8米大使館抗議行動(東京)

日時: 3月8日(水) 午後6時 場所: 住友不動産虎ノ門タワー(旧JTビル)前

呼びかけ: 資本主義を超える新しい時代を拓く反戦実行委員会 連絡先: 090-6481-6713 (松平)

### 4月

韓統連セミナー2023(大阪)

日時: 4月16日(日) 午後1時30分受付 2時開始 場所: KCC会館

内容: 第1回「尹政権の対日政策と私たちの課題」～戦後補償問題のゆくえ～(講師: 金昌範(キム・チャンボム) 韓統連大阪本部副代表委員) 主催: 韓統連大阪本部 参加費: 800円(青年学生500円) 連絡先: 090-3822-5723 (チェ)

第26回統一マダン神戸イベント〈地域講演会〉

日時: 4月23日(日) 午後2時開場 2時30分開始 場所: 兵庫区文化センター講習室

内容: 朝鮮戦争「休戦協定」締結70年 高まる戦争の危機、私たちの手で平和の礎を！(講師: 宋世一委員長) 主催: 統一マダン神戸実行委員会 連絡先: 090-5016-6352 (チェ)

編集後記

3・1朝鮮独立運動104周年を迎えましたが、記念式典の中で尹錫悦大統領が日本に対して歴史問題を不問にするような発言をしました。在日韓国人として到底受け入れがたい発言です。より糾弾闘争を強めていかなければと、決意を新たにしました(李)